

観光の発展と安全を願って

津別峠開き・安全祈願祭

NPO法人津別観光協会主催の「津別峠開き・安全 祈願祭」が悪天候による延期を経て、5月29日に津 別峠展望施設で開催されました。

出席者は関係者のみとなりましたが、今年津別峠を 訪れる多くの観光客の皆さんの安全を祈願しました。



ッカイキン 蘇界欽 二水郷長からの あいさつ

津別町は自然が豊かでリ ラックスできます。おもてな しいただきありがとうござい ます。産業、スポーツ、観光、 中学生の交流をさらに進めて いきたいです。



創立60周年を記念して

津別ライオンズクラブが町に寄付

5月21日、庁舎内にて津別ライオンズクラブより 創立60周年を記念する奉仕活動として、本町に対し 寄付をいただきました。

いただいた寄付金は、福祉車両の購入に充てられる 予定です。

友好都市締結11周年!

友好都市・台湾二水郷からの来町

5月28日、友好都市である台湾二水郷の郷長ら27 名の訪問団が来町しました。

一行は、公共施設や町内事業所を見学し、中央公民館 で行われた夕食会では、昨年10周年の際に津別町から 二水郷へ訪問した10名の訪問者や、津別町日台親善協 会会員、町議会議員、町職員ら総勢84人が参加しました。

夕食会では「音楽愛好会きずな カトル フィーユ」に よる大正琴の演奏と「津別町山鳴太鼓保存会」の演奏が 披露され、友好の輪を広げました。

一行は、ランプの宿森つべつに宿泊し、翌日は津別峠 雲海ガイドツアーを予定していましたが、残念ながら雨 のため中止に。その後、役場庁舎前にて職員に見送られ ながら帰路につきました。



市街地総合再生基本計 ね つ頃までに取り組 施設運営とな 誰が、 心た提案 の内容 幸町 どの 住み

住

関する提案町棟の 案書理 を受領に 取り組み

等については、 じて きま 、後の広報

容

のな話し合いの下開催などに

※広報6月号からの続きになります。

▶提案書を手渡す篠森協議会長

津別町幸町地区コミュニティ施設提案書

○主な意見・要望等

りますのり組み」

にま いっない

こ了承くだされては、休載しなか再生事業の

0

- (4) 多目的コミュニティスペースに対する意見・要望等
- ・誰もが気軽に立ち寄れる使い勝手の良い場として欲しい。
- ・施設管理者の独自の企画以外にも、サツドラの地域活性化のノウハウを活かしたセミナーやイベント を開催して欲しい。
- ・バス待合として利用することも考慮し、時刻表の掲示やバスの発着がわかるようにして欲しい。

(5) その他整備事業に対する意見・要望等

- ・木のまちつべつに相応しい外観としてほしい。また、外壁は明るい色彩とし、新しく整備された周辺 施設と調和のとれた色彩の同調色が良い。
- ・施設の位置を南東(現役場庁舎)側に寄せ、事故等防止の観点から、病院側より続く歩道の幅員を現 状計画以上確保することが望ましい。
- ・病院側から見た施設は、単調な壁面となるのでガラス張りや色調や模様など、外壁面に工夫があると
- ・大通棟と幸町棟を繋ぐカバードウォーク(屋根付き横断歩道)については費用対効果も考慮し整備の 取りやめも視野に、また各事業所や多目的コミュニティスペースについても、その必要性や規模など を十分に検討し、整備事業費の抑制に努めること。
- ・指定管理者について、人を集める、賑わいをつくるための人員が適正に配置され、しっかりと取り組 める体制づくりに、各種支援も含め適宜対応するよう望む。
- ・駐車スペースについては、十分な台数を確保し、建物へのアプローチも含め、複数方向からの出入り ができるよう計画すること。
- ・施設周辺インフラとして、病院との間の道道については、除雪・排雪などの対応が遅いため、町道に 移管するなどの検討を進めて欲しい。

以上、上記の市街地総合再生基本計画推進協議会の意見及び要望を以って、幸町地区コミュニティ 施設(幸町棟)の整備及び運営に関する提案書といたします。

問い合わせ先 住民企画課 企画係 14番窓口 **☎**77-8374

広報つべつ 2024年7月号 e-mail: toukei@town.tsubetsu.hokkaido.jp 広報つべつ 2024年7月号